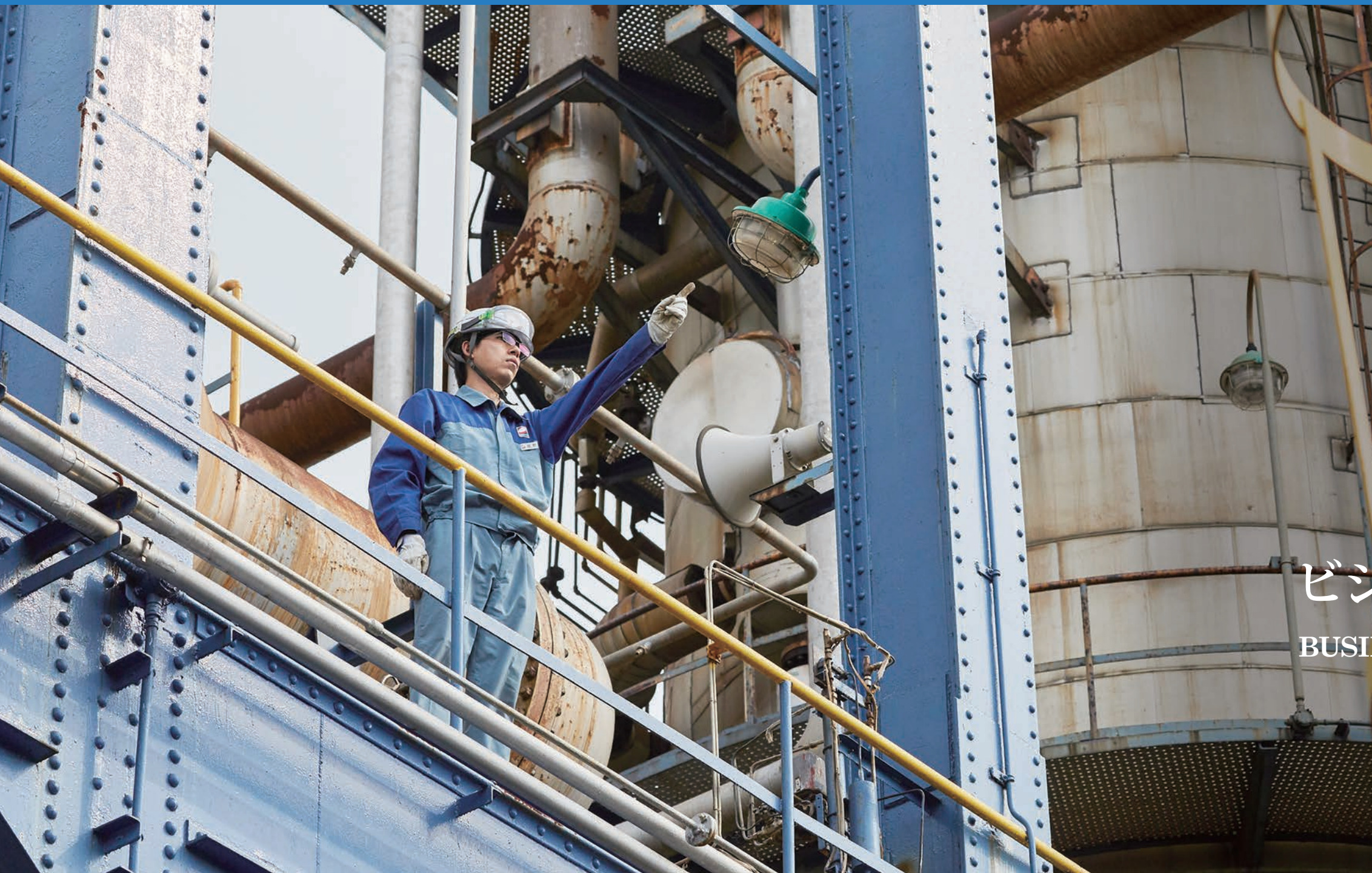




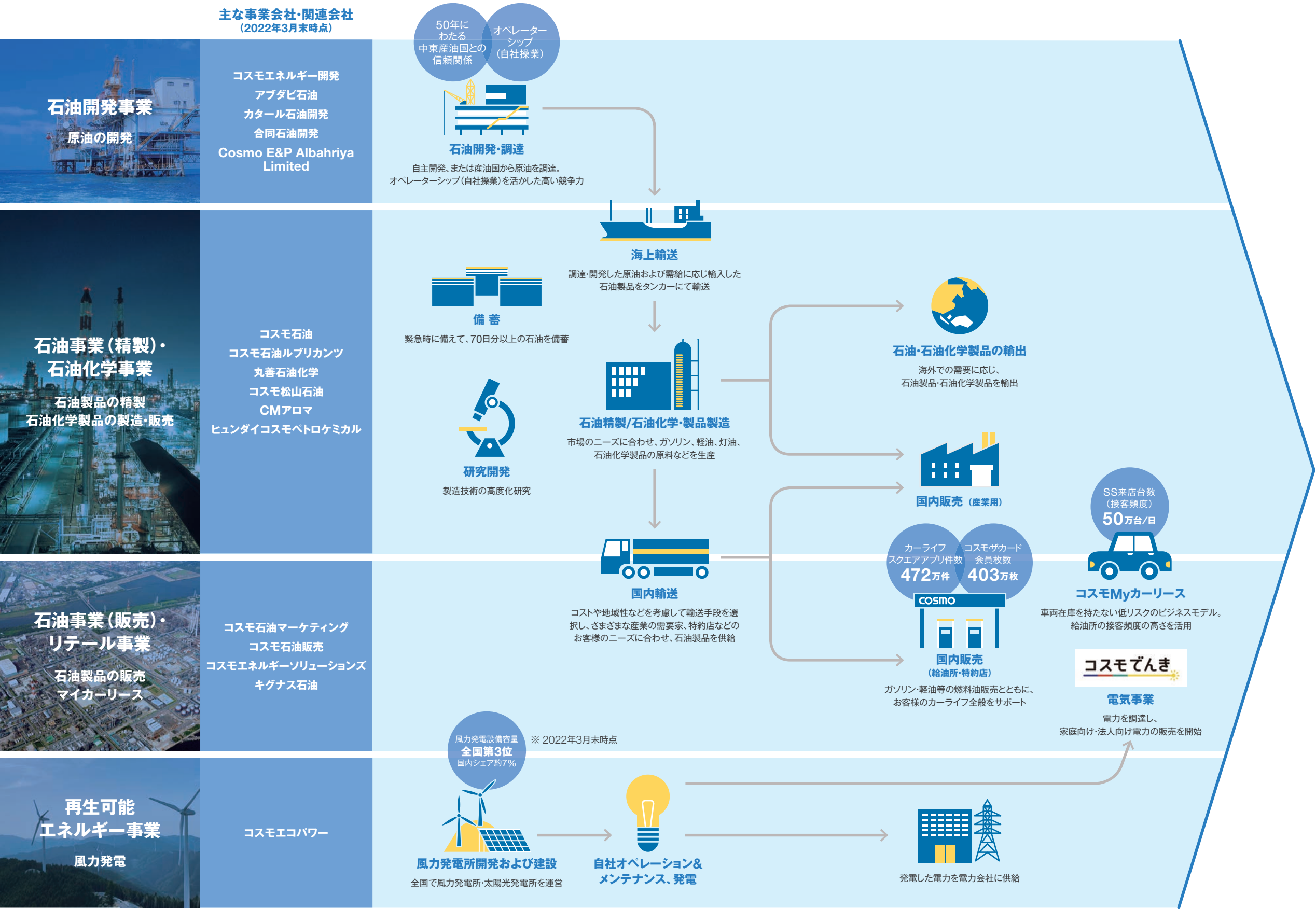
ビジネスアクティビティ

BUSINESS ACTIVITY

37 コスモエネルギーグループの事業
39 事業概況
41 石油開発事業

45 石油事業
49 石油化学事業
53 再生可能エネルギー事業

コスモエネルギーグループの事業



製品・サービス



石油製品

ガソリン／灯油／軽油／重油など



石油化学製品(生活必需品の原料)

レジ袋・ペットボトル・洋服・
タイヤ・電化製品の外枠など



カーライフソリューション

マイカーリースなど



電力

事業概況

	石油開発事業	石油事業 (精製・販売)	石油化学事業	再生可能エネルギー事業	合 計 ※その他事業含む
概 要	アラブ首長国連邦(UAE)アブダビ首長国、カタール国において、原油の自主開発・生産を行う事業です。	輸入した原油を製油所で精製し、全国のサービスステーションや工場、一般のお客様へ販売する事業です。	ポリエステル繊維、ペットボトル、プラスチック、合成ゴム等の原料の製造を行う事業です。	再生可能エネルギーとして主に風力発電を行う事業です。	
売上高 (2021年度実績)	910億円	2兆1,377億円	3,594億円	131億円	2兆4,405億円※2
経常利益 (2021年度実績)	448億円	1,655億円／932億円 (在庫影響除き)	136億円	35億円	2,331億円／1,608億円※2 (在庫影響除き)
従業員数 (2022年3月末時点)	266名	4,512名	1,227名	237名	7,111名
主な資産 (2022年3月末時点)	原油埋蔵量(確認・推定) 143.1百万バレル 約17年分の供給量に相当 (2021年12月末時点) 原油生産量(グループ合計) 約4.5万バレル／日 精製能力比 約11％ (2021年1月～12月実績) パートナーシップ 50年以上にわたる産油国との 強固な信頼関係	原油処理能力※1 40万バレル／日 国内シェア 約11.6％ 国内SS数 サービスステーション(SS)数 2,695ヶ所 コスモ・ザ・カード会員枚数 403万枚 コスモMyカーリース 累計 96,214台 「カーライフスクエアアプリ」件数 472万件	エチレン生産能力 129万t／年※3 国内シェア 約19％ パラキシレン生産能力 136万t／年 ベンゼン生産能力 73.5万t／年 ミックスキシレン生産能力 61.8万t／年	風力発電設備容量 30.0万kW 全国第3位 国内シェア7％ 風車数 175基 (23地域)	 企業名想起率 241社中 2位 2021年9月 日経BPコンサルティングによる 全国一般生活者への調査
全社共通のリスク	- 外国為替レートに関するリスク - 金利に関するリスク - 資産価値に関するリスク - 繰延税金資産の取り崩しに関するリスク	- 感染症等に関するリスク - 気候変動に関するリスク - 災害や事故に関するリスク - 法規制に関するリスク	- 競合に関するリスク - 信用に関するリスク - 品質に関するリスク - 顧客満足に関するリスク	- 法令違反に関するリスク - 情報の管理に関するリスク - 内部統制システムに関するリスク	※1 事業提携に基づく出光興産グループからの3.7万バレル／日相当の製品、半製品の供給を含む ※2 連結処理を含む ※3 京葉エチレン(丸善石油化学が55%を出資する連結子会社)の生産能力を含む

在庫影響とは

「在庫影響」とは、原油価格が変動した際、棚卸資産の評価方法によって、損益計算書の売上原価が影響を受けることを指し、以下の2つに区分されます。

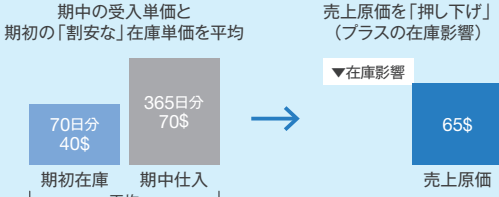
① 簿価切り下げによる在庫影響

棚卸資産の期末時点の時価が簿価を下回っている場合、簿価を時価まで切り下げるが必要となり、これにより損失が発生することを指します。

② 総平均法による在庫影響

棚卸資産の評価方法である「総平均法」によって受ける収益上の影響を指します。原油価格上昇局面では、期中の上昇した仕入在庫単価が期中比安値の期初の在庫単価と平均されるため、売上原価を押し下げ、反対に原油価格下落局面では、期中の下落した仕入在庫単価が期中比高値の期初の在庫単価と平均されるため、売上原価を押し上げることとなります。

原油価格が上昇する局面



原油価格が下落する局面

